

# JR北海道の事業範囲見直しに対する町の方針について

## ● JR北海道の事業範囲見直しの経緯について

平成27年以降、JR北海道の鉄道事業範囲の見直しが矢継ぎ早に表明され、鉄道事業の経営問題が表面化したため、町や町が所属する宗谷本線活性化推進協議会でJR北海道とさまざまな交渉を行ってきました。

一方、町では、平成26年度から秘境駅事業の観光資源化を検討し、イベント等の実施によりまちおこしの可能性を模索してきましたが、その最中に、JR北海道から糠南・南幌延・下沼駅の3駅廃止の提案がありましたので、町民皆さまからのご意見をいただきながら、昨年、今後の観光資源としての利活用や、現在から将来にわたっての地域で生活するための公共交通の観点から、平成29年度の予算に163万円の維持管理経費を計上して3駅を存続することとしました。

## ● 平成29年度の状況について

維持管理経費については、宗谷本線沿線自治体の費用負担の考え方で足並みが揃っておらず、現時点では費用が請求されない状況が続いています。そのような状況下にあっても、町では各種秘境駅イベントの開催や、本年から取り組んでいる廃止対象の3駅を地域住民・鉄道愛好家・町で守る「マイステーション運動」の取り組みなどにより、秘境駅事業を推進してきました。

こうした取り組みによって、全国各地から町内各駅を訪れる観光客は確実に増えています。

幌延駅を除く町内各7駅に設置されている「駅ノート」の書き込み件数の推移やイベント参加者の反応などにより、秘境駅事業のさらなる発展の可能性を感じています。

「マイステーション運動」の一環として、下沼駅の駅舎を「お化粧直し会」としてリニューアルする取り組みは、住民や鉄道愛好家からも概ね好評で、下沼駅の乗降数も増えているという報告を受けています。

過去からの経緯のほか、鉄道の日常的利用は少ないとはいえ、地域の足として地域住民などに利用されており、また、「幌延町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の具体的施策として掲げた、秘境駅などの「鉄道系資産の観光資源化」も検証途上にあります。

## ● 町の方針

今後の町の方針は、JR北海道の経費節減策がまだ進行中であるため、状況に応じて検討と決断が必要となります。

また、道北の26自治体や商工会議所などで構成される宗谷本線活性化推進協議会では、鉄道の利用促進策や宗谷本線の存続について議論が進められており、今後の独自の事業展開も検討されているため、その推移を見守りつつ、協議会と共に検討していくことが賢明と考えています。

JR北海道の経費節減策または費用確保策の全貌が明らかになり、沿線地域における対応の方向性が定まった時点で総合的に判断することとし、毎年度ごとに駅をとりまく社会動向や維持管理費などの状況を踏まえ、考え方を整理して対応していきます。JR北海道から継続した駅の廃止提案に対しては、町が維持管理費用を負担する形で存続させたいと考えていますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

### ■ 3駅存続の町H29予算額 (単位：千円)

駅名	予算額	備考
糠南	540	除草、除雪、JR負担金
南幌延	482	(駅設備検査、ホーム検査、
下沼	608	電気検査、光熱水費)
計	1,630	※乗降場修繕費含む

### ■ 各駅ノート書き込み件数 (単位：名)

駅	H26	H27	H28	H29
下沼駅	0	44	312	190
上幌延駅	20	65	257	112
南幌延駅	0	65	204	103
安牛駅	34	112	219	113
雄信内駅	92	149	232	236
糠南駅	69	186	374	187
問寒別駅	5	129	219	90
合計	220	750	1,817	1,031

※H29は10月末現在 (参考：H28.10月末現在1,315名)



「お化粧直し会」でリニューアルされたJR下沼駅

お問い合わせ先：住民生活課 生活環境グループ 電話：5-1115(内線153・154) 告知端末機：5-8812